

学校経営ビジョン（令和2年度・2020年度）

学校の役割は、「学校は、生徒がよい習慣をつける場である」と考え、学校や家庭及び社会において身につけたよい習慣が、これからの時代を生きていく人間力のある生徒諸君の道標となるように以下の教育目標を設定して、「高鍋高校 わが母校」となるように日々の教育活動をおこなっていく。

1 教育目標

- 生徒一人ひとりがもてる力を十分に発揮して、自己実現に邁進する力を育む。
- どんな大変な時でも、自ら一歩足を出せる前向きな人間力を育む。
- 社会に貢献できるたくましい人材を育成する。

2 基本方針

- めざす学校像
 - 普通科・探究科学科・生活文化科の3つの科が伝統を守りつつ、一緒になって人財の育成に挑戦していく学校
 - 保護者、地域、同窓会との連携による信頼され愛される活力ある学校
- めざす生徒像
 - 自ら求めて学び、高い志をもって、前向きに考えて目標に挑戦し続ける生徒
 - ニコリ笑って、「先生！大変だけど楽しいちやが」と言える高校生活をする生徒
- めざす教職員像
 - 生徒をやる気にさせて、自らも謙虚に学び続ける教職員

3 令和2年度の重点目標と取組内容

(1) 確かな学力の向上と進路実現

- ① 基礎基本を確実に定着させ、「わかった！」と自分が感じて、自ら学んでいく姿勢を身に付けさせる。
- ② 授業中は、生徒が自ら考える質の高い授業を創造する。
- ③ 「難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことをおもしろく」というわかる授業を推進する。
- ④ 高みに挑戦する気概を持つ志の高い生徒を育成する。
- ⑤ 自学自習ができる学習環境を整備する。
- ⑥ 難関大学をはじめとして進学や就職に合格する学力を育成する。そのためにも一生懸命に努力する人材を育成する。
- ⑦ 自立した人間となるためのキャリア教育を推進する。

(2) 豊かな心の醸成と基本的生活習慣の確立

- ① 心からの笑顔の挨拶ができる生徒を育てる。
- ② 命を大切に教育の推進を図る。(いじめゼロ)
- ③ 環境美化・環境整備の充実を図る。(師弟同行の実施)
- ④ 「being」を通じて自己効力感の醸成を図る。
- ⑤ 真面目に誠実に生きる。苦勞している人がいたら手を差し伸べる生徒を育てる

(3) 地域に開かれ信頼される活力ある学校づくり

- ① 地域との積極的な協働とホームページや明倫等による広報活動をさらに充実させる。
- ② 中高等の連携強化による中高一貫した教育を推進する。
- ③ P T A ・同窓会との連携強化による信頼関係を構築する。

(4) 自主的自律的自己の確立と文武両道の推進

- ① 自ら求めて学ぶ生徒にする。
- ② 目標に挑戦し続ける生徒にする。

(5) 教職員の資質向上

- ① 授業研究・教科会を充実させ、共通テストや難関大学などの入試問題研究による授業力・作問力を向上させる。
- ② 小テスト等を利用して基礎・基本の定着するための教科指導の研究をする。
- ③ 課題、課外、対外模試の等の在り方を研究する。
- ④ 同僚性・O J Tによる教職員のチーム力を向上させる。
(担任2人制として、担任・副担同士で、協力していく)